



令和元年度 結核予防週間 街頭キャンペーン

結核予防週間（9月24日～9月30日）にあわせて、岡山市内において街頭キャンペーンを行いました。

《日 時》 令和元年9月27日（金） 7:30 ～ 8:30

《場 所》 JR岡山駅東口階段下及び地下改札口

《参加者》 岡山県・岡山市・岡山県診療放射線技師会・
岡山県健康づくり財団 （総勢18名）

通勤通学時間にあわせて、ポケットティッシュやリーフレットを配布しながら、結核予防の大切さを呼びかけました。



『あのとき、〇〇していれば・・・』

今年の結核予防週間の標語（厚生労働省）です。正しい知識と早めの受診の大切さを広く知らせるため、結核予防週間を中心に、全国各所で結核予防の普及啓発活動が展開されています。

結核は過去の病気と思われがちですが、日本では今でも年間15,590人（1日に43人）の新規結核患者が発生し、2,204人（概数、1日に6人）が結核で亡くなっています。

※平成30年データ

2週間以上咳やタンが続く場合は医療機関で受診しましょう。家族等周りの人たちへの感染を防ぐためにも早期発見は重要です。また、症状がなくても、毎年定期的に健診を受けましょう！